

スピーカー: ジョーン・モーニングスター  
/ ミシサガ・ファースト・ネーション、カナダ

カナダ・オンタリオ州のミシサガ・ファースト・ネーションの一員。薬物とアルコール乱用のカウンセラーを21年務め、その後ブラインド・リバーの高校でミシサガ・ファースト・ネーションのトラディショナル・スチューデント・メンターとして勤務。2018年2月にがんと診断され退職。歩行、発声、微細・総体的な運動能力を取り戻し、多くの趣味や野外活動を楽しみたいと考えている。理学療法士と共にリハビリを行い、専門家が見守るなか、トレーニングを毎日行なっている。ブラインドリバーのウラン精製所・焼却炉の運転停止を求めるキャンペーンも行っている。

---

こんにちは、ジョーン・モーニングスターと申します。

ジョーン・モーニングスターとは私の公式な氏名ですが、実は私の本来の名前は「南雲女」を意味する「Zhaawan Aankwad Ikwe」です。ミシサガ・ファースト・ネーションに住んでいます。オンタリオ州のブラインド・リバーから西に約8km離れたところにあります。スーセントマリーとサドバリーの間地点の近くに位置しています。

80年代初期、当時は「エル・ドラード」と呼ばれていたカメコ社がここにウラン精製工場を建てました。工場の建設のために製鋼所工員など外からたくさんの労働者が連れてこられ工場を建てる作業をしていました。労働者が宿泊するためのトレーラーがありました。私はトレーラーで働くために雇われそこで働いていました。結構いい仕事でしたがある時理由もなく一時解雇されました。職場の状況は以前と何も変わっておらず解雇の理由についても説明は一切ありませんでした。約2週間、仕事がありませんでした。

その後再度雇われ復職した時、人々の様子が以前と違ってことに気がきました。他の職員は私と目を合わせなかったり、あんまり話してくれないようになりました。友達に「何があったの？前と何かが違う感じがする」と尋ねましたが、彼女は「ああ、なんでもないよ」と言って、急いで行ってしまいました。その日、私は仕事に戻り、最後の部屋の掃除が終わり座っていた時に音楽が聞こえました。どこかどこかの部屋のラジオをがつけっぱなしにしたかだと思いトレーラーにある10部屋を確認しに行きました。ラジオはどこもついていなかったのが最初の部屋に戻り椅子に座りました。再び聴くとまた音楽が聞こえました。最初は小さい音量でしたがしばらくすると音が大きくなりました。ドラムの音が聞こえました。複数人の男女や子どもの声が聞こえました。悲しみに満ちた泣き声や嘆き声が聞こえました。その時に私はあまりの悲しみに胸がいっぱいになり、泣き出しました。そのあと、仕事も終えて、その日の晩私は義母のところに行きその日のことを話しました。そうすると「その土地にある何かをカメコは乱してまったようだ。埋葬地があったのかもしれない。」と義母は言いました。「そこに戻り他に何か情報を得られなにか、友達に聞いてきなさい」と言われました。私は「はい」と答えました。

職場に戻った時、友達と一緒に座り「ここで何があったのか、教えて」と尋ねました。職場では様々のことが起きていたようで、友達は私を見つめそして周りを見てからまた私の方をむいて「もしあなたに言ったらクビになるって言われたんだ」と言ってから埋葬地を発掘したんだ、と彼女は教えてくれました。ヘリコプターも出勤され四六時中、照明がついているとも教えてくれました。考古学者たちがそこにあった全てのものを持ち出したんだと最後に言い残して彼女は立ち去りました。

その晩、私は義母のところに戻り「埋葬地を発掘してみたい」と義母に教えてました。そうすると義母は私に御供物を持っていくように言いました。食べ物やタバコなどをお供えしてきなさいと言われました。私は「はい」と答えその週末、夫と一緒にカヌーで行きました。

河岸にカヌーを留め、岸を登り、こっそりカメコの土地に入りました。森林の境界まで歩き、中に入りました。発掘作業が行われた場所では複数のくぼみが見えました。長方形や正方形の形をしたくぼみがありました。その時、私は先祖の霊と出会いました。ご先祖様の存在を感じ、対話をしました。私をそこによんでくれたことに感謝しました。もう一度ドラムと歌声が聞こえました。私はその場に座り込み泣き出しました。その後、お供えをしてから帰りました。

義母のところに戻り、起きたことについて話しました。そうすると「仲間をこの土地に取り戻すために先祖たちはあなたをよんだんだよ」と義母は言いました。

もう2021年になりましたが私は当時の1982年からこの活動をしています。

今度こそ、ご先祖様とその神聖な遺品を故郷に取り戻せるのではないかと、やる気に溢れています。私たちのコミュニティーでは誰かが亡くなり埋葬される時は、神聖な遺品と一緒に埋葬されますから。その大切な持ち物がどこかの博物館に飾られて欲しくないです。もう一度きちんと埋葬されなければならないし、何よりもご先祖様をこの土地に返したいです。

ジョーン、精製工場と焼却炉はこの居留地からどれくらい離れていますか？

ここから行きますと、1.6kmですが、高速道路の反対側にはもっと近くに住んでいる人もいます。しかしカメコの報告書にはそれは記載されません。カメコはいつもブラインド・リバーだけを取り上げ私たちのコミュニティーを無視しています。ミシサガ・ファースト・ネーションが彼らにとってまるで見えないようです。ゴルフ場のための緊急避難計画はあります。あそこに高校がありますが、そのための避難計画もあります。しかしすぐ目の前にあるミシサガについては一度も触れていません。私たちのための緊急避難はないのです。もし今日警報がなったら私はそれが聞こえると思いますか？私は今がんにかかっています。その原因は精製工場だと確信しています。肺がんにかかっています。がんによる運動機能障害は初めて見たと医者に言われました。細かい運動も総体的な運動も、喋ることも歩くことも。去年より体調はよくなりましたが。

それは、精製工場の近くに住んでいるからだと思いませんか？それとも焼却炉も関係していると思いませんか？

そうですね、昔、1991年か1990年に放射性物質が降ってきました。その時は37万リットル以上が降ってきました。その朝、起きた時車が白くなっていたのを覚えています。黄っぽい、緑っぽい何かに覆われていました。私は外に出て車に降り積もっていたものを素手で払い落としました。その後、夫も様子を見に出てきました。それが何だったのか知りませんでした。しかし今、私はがんにかかっています。夫もがんです。今はもう離婚していますが彼もがんになりました。隣に住んでいた友人の女性もがんになり、亡くなりました。向いに住んでいた若い女性の子どもたちも色々な健康問題に苦しめられています。もう一人、同じ通りに住んでる友達は娘が乳がんになりました。カメコで働いていた男性がこの近くに住んでいたのですが、がんで亡くなりました。

コミュニティー全体に広がっていますね。



こことブラインドリバーでは3ヶ月に一人、がんで亡くなります。ブラインドリバーに住んでいる男性も亡くなったと、最近聞きました。

ジョーンさん、ありがとうございました。

#### おことわり

この文章の責任は証言動画の文字起こしを行ったピースポートにあります。オリジナルの証言と完全に一致するとは限りません。オリジナルの証言は2021年12月3日(日本時間)に行われた世界核被害者フォーラム2021にてオンラインで上映されました。このフォーラムはピースポート主催、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)協力で開催され、世界5大陸から30名を超える参加者がそれぞれの核の被害を1000人を超える視聴者に訴えました。証言やパネルディスカッションの様子はYouTubeチャンネルまたはこちらのウェブサイトより閲覧可能です。<https://nuclearsurvivors.org>